

# 特 記 仕 様 書

(令和 8 年度)

工事名称 巖井ポンプ場コンデンサ更新工事

岡山市下水道河川局下水道施設部 下水道施設管理課

# 目 次

## 第1章 総 則

第1節 一般事項 .....	1
第1条 適用範囲 .....	1
第2条 法令・条例等の適用 .....	1
第3条 疑 義 .....	1
第4条 機器材料の選定 .....	1
第5条 機器寸法・配置 .....	1
第6条 提出書類 .....	2
第7条 施工管理 .....	2
第8条 損傷部補修 .....	2
第9条 災害防止等 .....	2
第10条 検査・試験 .....	3
第11条 竣工及び引渡し .....	3
第12条 契約不適合責任期間 .....	3
第13条 跡片付け .....	3
第2節 事前調査と施工 .....	4
第14条 施工計画 .....	4
第15条 届出・手続き等 .....	4
第16条 据付け・施工 .....	4
第17条 塗 装 .....	4
第18条 性能確認運転 .....	5
第19条 官公庁・関係機関への手続等 .....	5
別 表 仕様書等 .....	6

## 第2章 施 工 内 容

第1節 コンデンサ更新工事 .....	7
第1条 概 要 .....	7
第2条 工事場所 .....	7
第3条 工事範囲 .....	7
第4条 工事内容 .....	7
第5条 施工条件 .....	8

## 第1章 総 則

### 第1節 一般事項

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書（以下「本仕様書」という。）は、「巖井ポンプ場コンデンサ更新工事」に使用する。

なお、本工事は、工事請負契約書、設計図書、本仕様書並びに岡山市下水道河川局「下水道用機械電気設備工事一般仕様書」及び「岡山市土木工事共通仕様書」

（以下一般仕様書等という。）に準拠し、機器の製作並びに据付けをし、定められた期間内に優秀な技術で施工するものとする。また、本仕様書等に記載がない事項については、別表の仕様書等によるものとする。

(法令・条例等の適用)

第2条 本工事に関係ある法令・条例等は良くこれを遵守し、必要な届出手続等は予め、監督員に関係書類を提出し、その承諾を得た後、受注者がこれを代行する。これらに要する費用は、特別に設計書等指示指定したもの以外は全て受注者の負担とする。

(疑 義)

第3条 本工事契約後は、一切疑義申立は出来ないものとする。本仕様書並びに添付図書に疑義を生じた際は、監督員の決定に従うものとする。

(機器材料の選定)

第4条 本工事に使用する機械機器具及び材料は全て新品とし、本市の承諾した製品とする。

同種の製品部品等は完全な互換性を有するものでなければならない。

特に明示のないものについては、市場で優良と認められ、それぞれの目的に合致し、かつ均衡を得た製品であること。

又、JIS 等、各種法規・規格に制定されているものは、これらに準拠又は場合によっては適合しなければならない。

主要機器については、受注者の自社製品とする。ただし、本市が承諾した場合は、この限りではない。

(機器寸法・配置)

第5条 特記仕様書並びに設計図書に記載する機器の寸法は、参考寸法を示し承諾図により決定する。

機器の配置は設計図面のとおりとする。

なお、機器の目的機能上及び維持管理上、設計の仕様変更が適切と思われる場合は、予め書類にて監督員の承諾を得てから、設計・製作・据付けに取りかかること。  
又、測量等の現場調査を充分に行い工事の完璧を期すること。

(提出書類)

第6条 受注者は、契約後速やかに一般仕様書等に従い必要書類、図面等を提出すること。

(施工管理)

第7条

- (1) 現場代理人は、常に工事現場に常駐し、監督員の監督を受け、施工管理、材料、機器の保管並びに現場従業員等の取締り、及び工事に関する一切の事項を処理すること。

尚、本工事進捗に関し、法令等の定めるところにより有資格者の常駐等が必要な場合は、受注者の責任と義務にて措置し、現場の安全就労と円滑な工事の進捗に努めること。

- (2) 準拠規格

岡山市下水道河川局「下水道用機械電気設備工事一般仕様書」ほか

- (3) 関連業者との協力等

受注者は、工事施工に当たって関連業者との連絡を密にして工事の進捗を図ると共に、工事限界責任区分については、相互に協力し全体として支障のない設備とすること。

- (4) 工程会議

受注者は、本工事の円滑な進捗を図るために必要と認められるときに、又は監督員の指示する時は工程会議を開催し、必ず出席すること。

尚、本会議のほか全て打合せ会議の際は、その都度議事録等を作成し、監督員に2部提出して承諾を得ること。

(損傷部補修)

第8条 本工事施工に際し、建造物・機器等を損傷しないよう充分注意すること。

万一損傷した場合は、監督員の指示に従い同程度以上の資材をもって、速やかに原形に復旧すること。

(災害防止等)

第9条 本工事施工に当たっては、労務者等現場従業員の安全、災害防止対策に万全を期するほか、労働基準法・労働安全衛生規則等の作業保安規定に絶対違反することのないよう特に留意し、施工すること。

尚、工事中第三者に危害等を与えた場合は、受注者の責務において誠意をもって解決すること。

(検査・試験)

第10条

- (1) 本工事に使用する機器、材料のうち特に指示するものは、製作工場等において検査員立会いの下で検査及び試験を行い、その試験成績表を提出すること。
- (2) 本工事に使用する器具材料は、全て現場搬入のつど監督員の検査を受け、これに合格したものを使用すること。
- (3) 本工事終了に際しては、竣工期日前に各設備の機能その他の試験をおこない、これに合格しなければならない。

(竣工及び引渡し)

第11条 現場の据付後、性能確認試験及び関係監督官庁等の立会検査の終了後に引渡しを行うものとする。

引渡し完了までの機器保管の責任は、受注者が負うものとする。ただし、社会通念上受注者の責に帰すべき事由でないと認められる時はこの限りではない。

付属品、補修用品類は、長期間の保管ができるよう木箱に入れるか、確実な格納包装をして納入すること、又必要に応じて保管上の説明書をつけること。

なお、それぞれの数量等については、完成引渡し時に本仕様書に基づき取り揃えること。

(契約不適合責任期間)

第12条 本工事の契約不適合責任期間は原則として引き渡し完了後2年とする。

万一契約不適合責任期間中に受注者の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合には、受注者は、無償にて直ちに管理者の指定する期間内に改造補修又は新品と交換すること。

なお、上記の期間経過後といえども重大な故障を生じた場合は、協議の上、無償にて修理を行うこともあり得る。

(跡片付け)

第13条 受注者は、工事完了に際し、監督員の指示に従い工事現場の整理、整頓等跡片付け及び清掃を行うこと。

## 第2節 事前調査と施工

(施工計画)

### 第14条

- (1) 受注者は契約後速やかに技術者を派遣し、監督員と詳細な製作、施工の協議を行ってから、工事に着手すること。尚、協議録は必ず提出すること。
- (2) 工事着手前に、総合工程表及び全体計画書（工事計画、保守計画、仮設工、その他施工上必要な事項）を提出し、本市監督員の承諾を得ること。
- (3) 建設資材等の現場搬入に際しては、監督員の指示する搬入方法、経路に基づき、搬入計画を作成し、監督員の承諾を得ること。

(届出・手続き等)

第15条 必要な届出・手続き等は、予め監督員に関係書類を提出し、その承諾を得た後、受注者がこれを代行すること。これに要する費用は特別に設計書に指定したもの以外はすべて受注者が負担すること。

(据付け・施工)

### 第16条

- (1) 搬入に際しては、事前に搬入計画を提出し、監督員の承諾を得ること。
- (2) 工場検査、試験に合格した機器は、完全に梱包して現場に搬入し、監督員の指示に従い設計図書等に基づき誠実、確実な据付を期すること。
- (3) 機器の据付けに当たっては、完全に芯線を合わせ水平垂直の正確を期し、芯出しを行い監督員の承諾を得ること。
- (4) 付属機器の据付位置は、機器の機能上、維持管理上最も有利と認められる位置を選定すること。但し、本事項が設計内容と異なる場合は、あらかじめ監督員と協議のうえその承諾を得ること。
- (5) 機器・器材の運搬、据付け、組立てに当たっては危険のないよう充分注意し、特に保安を最重視し、常に現場の整理、整頓に努めること。
- (6) 図面、仕様書等に明記なくとも受注者の責任と負担において本工事の機能を満足させること。
- (7) はつり等で建物のコンクリートを壊すに当たって、中に入っている鉄筋を傷つけないよう注意すること。
- (8) その他一般仕様書によること。

(塗 装)

第17条 塗装仕様は、本仕様書に明記のないものについては、一般仕様書によること。

(性能確認運転)

第 18 条 性能確認運転は、実負荷等による機能・性能の確認等の試験であり、本工事の工期内に行い、その実施内容は次による。

- (1) 設備及び機器の連携運転による機能・維持管理性の確認及び調整
- (2) 維持管理職員に対する運転操作、保安点検方法等の基礎的指導

(官公庁・関係機関への手続等)

第 19 条

- (1) 受注者は、工事期間中、関係官公庁及びその他の関係機関との連絡を保たなければならない。
- (2) 受注者は、工事施工にあたり受注者の行うべき関係官公庁及びその他の関係機関への届出等を、法令、条例又は設計図書の定めにより実施する。ただし、これにより難しい場合は、監督員の指示を受ける。
- (3) 受注者は、前項に規定する届出等の実施に当たっては、その内容を記載した書面により事前に監督員に報告する。

別表 仕様書等

- (1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）  
同標準図 同監理指針 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）  
同標準図 同監理指針 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
- (3) 日本産業規格（JIS）
- (4) 電気規格調査会標準規格（JEC）
- (5) 日本電機工業会規格（JEM）
- (6) 電気設備技術基準
- (7) 電気内線規定（JEAC 8001）
- (8) 労働安全衛生規則
- (9) 消防法（危険物規定）
- (10) 岡山市消防法令関係規定集
- (11) 土木学会コンクリート標準仕様書
- (12) 日本下水道事業団 機械設備標準仕様書
- (13) 日本下水道事業団 機械設備工事一般仕様書
- (14) 日本下水道事業団 機械設備工事必携 工事管理記録
- (15) 日本下水道事業団 機械設備工事必携
- (16) 日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図
- (17) 日本下水道事業団 電気設備工事必携
- (18) その他関係法令・規格・規定等



## 第2章 施工内容

### 第1節 コンデンサ更新工事

(概要)

第1条 本工事は、経年劣化により性能が低下し施設の運転管理に支障をきたすため、当該機器の更新及びリアクトルの更新・増設をおこなうもの。

(工事場所)

第2条 本工事の場所は下記のとおりである。

巖井ポンプ場

岡山市北区富町二丁目6番30号

(工事範囲)

第3条 本工事の範囲は次のとおりとし、当該機器の試験調整までを含むものとする。

- |                    |    |
|--------------------|----|
| 1)コンデンサの更新         | 1式 |
| 2)コンデンサ用リアクトル更新・増設 | 1式 |
| 3)故障表示用リレー取付       | 1式 |
| 4)表示灯銘板取替          | 1式 |
| 5)試験調整             | 1式 |
| 6)PCB含有調査          | 1式 |

※低濃度PCBが含まれていた場合は流出の恐れが無い様に処置した上で保管し、市監督員の指示を受けること。

(工事内容)

第4条 更新・増設機器の仕様は、以下のとおりである

1)巖井ポンプ場

①コンデンサ盤 A3C

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| 高圧進相コンデンサ 3.3kV 100kvar   | 1台 |
| リアクトル 100kvar用            | 1台 |
| 高圧進相コンデンサ 3.3kV 15/18kvar | 1台 |
| リアクトル 18kvar用             | 1台 |

②動力主幹盤 A7

- |                        |    |
|------------------------|----|
| 低圧コンデンサ 220V 50kvar    | 1台 |
| リアクトル 50kvar用          | 1台 |
| 低圧コンデンサ 220V 30/36kvar | 1台 |
| リアクトル 36kvar用          | 1台 |
| 低圧コンデンサ 220V 15/18kvar | 1台 |
| リアクトル 18kvar           | 1台 |

リアクトル取付架台	3組
ブレーカ 2P 5A	1個
プラグインリレー DC 100	3個
ソケット表面配線タイプ	3個
表示灯銘板	1枚
③動力・照明分岐盤 A8	
低圧コンデンサ 440V 8 $\mu$ F×3	1台
④ポンプ、沈砂池設備C/C A12	
低圧コンデンサ 220V 750 $\mu$ F	1台
低圧コンデンサ 220V 600 $\mu$ F	1台
⑤その他必要品	1式

(施工条件)

第5条 本工事施工に際して、当該施設の運用の支障にならないよう作業工程・手順の調整をおこなうこと。詳細については事前に本市監督員と協議しその指示に従うこと。